

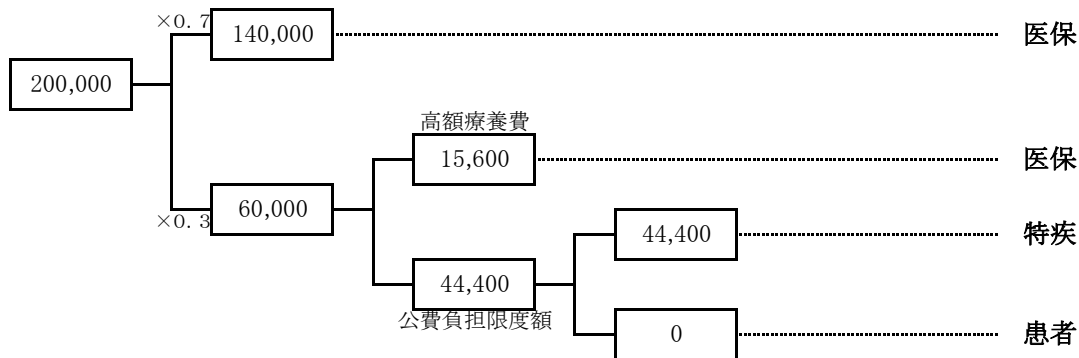
事例29 高齢受給者(70歳以上)入院外(現役並み所得)・公費(特定疾患)

国保

訪問看護療養費明細書										6 訪問	1 国	3 3 併	0 高齢7
公費負担者番号①	5	1						公費負担医療の受給者番号①		保険者番号			
公費負担者番号②	8	0						公費負担医療の受給者番号②					
氏名								特記	←51公費の適用所得区分を記載する				
職務上の事由								17 上位					
合 計	請求 円	※ 決定 円					負担金額 円	※高額療養費 円					
	200,000						44,400						
	公費①						空欄	※公費負担金額 円 備考					
公費②	200,000						0	※公費負担金額 円					

※ 高額療養費が発生する場合

- 〔療養の給付〕 →高額療養費が発生しているので、「保険」の「負担金額」欄に支払を受けた一部負担金額(現物高額適用後の患者窓口負担額)を記載
- 国保における単県医療費併用の場合は、限度額適用認定証の所得区分の限度額が適用される
- 51公費併用の場合も、所得区分に応じた限度額が適用されるので、「保険」の「負担金額」欄は上位所得区分の44,400円を記載



〈保険〉70歳以上 国保 定率3割

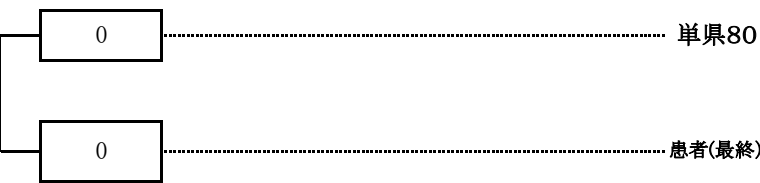
〈高齢受給者証〉定率3割(現役並み所得者) 自己負担限度額=44,400円

〈公費①〉特定疾患(所得区分:現役並み所得) 月額自己負担限度額=0円

〈公費②〉単県80 定率1割 一定以上(一部負担上限額 44,400円)

合計	
医保	155,600 円
(高額再掲	15,600 円)
特定疾患	44,400 円
患者	0 円
単県80	0 円
患者(最終)	0 円

高額療養費
(200,000円×0.3) - 44,400円=15,600円



→単県80の給付なし
(ただし、単県80の受給者証の提示があった場合、レセプトに記載)